

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310031008	家族論 Familiology or family sociology	山口佐和子			2	必修	3前期
科目の概要							
DP1に記載している、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して職場と地域の人々と共同して解決していくことができ、またDP3に記載している、自立した社会人として自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献できる人材育成を目指す。さらには各学科がDP2に記載している各々の専門性を育むよすがとなることを目指す。 そのために、この科目では、社会学の視点からの家族論を紹介する。自分が持っている常識や思い込みからいったん離れ、家族について客観的に考えることを身に付ける。							
学修内容				到達目標			
① 社会学的見地から「家族」の歴史・変遷を知る。 ② 家族問題や家族の現状に関連する専門用語を知る。 ③ 家族のあり方（マクロ視点）や自分の考える家族像（ミクロ視点）について考察する。				① 社会学的見地から「家族」の歴史・変遷について説明することができる。 ② 家族問題や家族の現状に関連する専門用語を説明することができる。 ③ 学んだ知識を活用し、家族のあり方（マクロ視点）や自分の考える家族像（ミクロ視点）について考えを提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自発的・積極的に学修および調査研究を進めることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	困難があっても、工夫しながら目標に到達できる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理することができる。。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく工夫のある発信をすることができる。					
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。					
	規律性	遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するために協力することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『入門家族社会学』永田夏来、松木洋人、新泉社、2,300円＋税 参考文献：『よくわかる現代家族第2版』ミネルヴァ書房、2,500円＋税							
他科目との関連、資格との関連							
この科目は、全学共通の位置づけであり、各学科の基盤となる科目である。「社会学」や「ジェンダー論」と隣接する。保育士、中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）の資格と関連する。							
学修上の助言				受講生とのルール			
授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もノートにとること。日頃から家族に関わる社会ニュースに着目し、自分の意見を持つ習慣をつけること。				学則で定められたように、遅刻2回で欠席1回とみなす。 授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係ない電子機器の使用を禁ずる。 授業の課題、予習、復習に取り組むこと。 授業で配布する資料の予備は保管しないので、他の受講者からコピーさせてもらうこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	90	①	✓			家族論の基礎内容を理解しているか、および自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。知識の獲得（家族論に関する社会学的基本事項や専門用語の理解ができているかが評価される）：70%、知識の活用と解決（家族問題に考察をもとに、正しい日本語で、論理的に、説得力のあるものとして書かれているかが評価される）：20%	
				②	✓				
				③	✓				
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
		レポート		0	①				
					②				
					③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
					②				
					③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 積極的に学修し文献や情報を探することができる。 (実行力) 工夫しながら目標に到達できる。 (課題発見力) 課題を客観的に整理できる。 (創造力) いろいろな方向から考えることができる。 (発信力) 聞き手に対しわかりやすく表現できる。 (傾聴力) 複数の意見を聞くことができる。 (柔軟性) 異なる意見を受け入れることができる。 (状況把握力) 集団の中で自分ができることを考えることができる。 (規律性) 授業のルールを守ることができる。		
			②	✓					
			③	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識をじゅうぶんに活用し、家族に関わる社会学的知見や歴史、専門用語をじゅうぶんに説明できる。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、非常に論理的で、じゅうぶんに説得力のあるものを執筆できている。</p> <p>A (優) の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識を活用し、家族に関わる社会学的知見や歴史、専門用語を説明できる。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的で、説得力のあるものを執筆できている。</p>	<p>B (良) の目安：授業内の課題に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識を活用し、家族に関わる社会学的知見や歴史、専門用語を理解できている。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的に執筆できている。</p> <p>C (可) の目安：授業内ですべきことを理解し、適切な行動をとることができる。筆記試験においては、授業から得た知識を活用し、流行に関わる社会学理論や専門用語を一定程度理解できている。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、設問の意図を理解して執筆できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション 家族のイメージについて考え、意見交換する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
2	日本社会の家族変動 前近代社会と近代社会の家族について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	恋愛と結婚 家族形成の契機のひとつである恋愛・結婚の諸相について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	家族と介護 家族介護と介護の社会化についての現状を学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	社会階層と家族 子どもの貧困および家族によって異なる教育機会の問題について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	離婚、再婚と子育て 離婚や再婚の動向およびひとり親が直面する問題について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	成人した子どもと親の関係 中期親子関係への注目とその課題について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	多様化するパートナーシップと共同生活 家族を超えた連帯として共同生活について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	家族とお金と愛情 家族間のお金と愛情について現代の諸相を学ぶ。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	結婚差別と家族 結婚するに際し、日本社会で足かせとなってきた問題について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	セクシュアル・マイノリティにとっての子育て LGBT当事者の子育ての実態を当事者の語りから分析した結果を学ぶ。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	LGBT当事者と家族 LGBT当事者がどのように家族と生きてきたか、生きているかの事例を知る。	特別講師、ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	子育て広場におけるやりとりとつながり 子育て広場における母親たちの会話分析から母親の抱える問題を理解する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	ポスト工業化社会への移行から考える家族と政治 家族生活は社会や政治と密接につながっていることを理解する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	授業全体のまとめ 授業全体を振り返る。家族論についての教材動画を視聴する。授業の感想をgoogle formで提出する。	オンデマンド配信	授業の感想をgoogle formで提出する。	予習：授業全体の内容を理解する。 復習：授業のなかで学んだ社会的知識や専門用語等を自らの知として活用できるようにし、視聴動画の内容を理解する。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力